

【会場図】

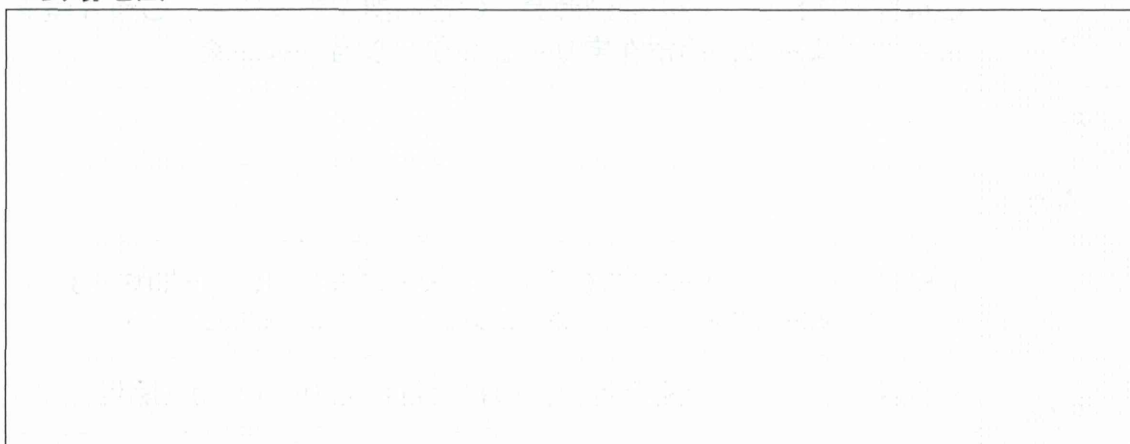
・会場住所：〒111-1111 ○市○1-1

・会場へのアクセス

バス	○駅西口より「○」行きバスにて約○分
タクシー	○駅西口より約○分
徒歩	○駅西口より約○分

※駐車場の有無

・会場地図



【タイムテーブル】

※ 実際には、この2日の研修会の他に医師のみオプションで在宅実地研修（訪問診療同行、多職種同行）が予定されています。

1日目：平成〇年〇月〇日（〇）14:00～19:00（開場 13:30）

時刻	タイトル	主な講師	分類	時間	
13:30	開場			—	司会 ..
14:00	開会挨拶／趣旨説明／来賓挨拶	主催代表	他	15分	
14:15	① 在宅医療が果たすべき役割		講義	30分	
14:45	② 在宅療養を支える医療・介護資源		講義	15分	
15:00	② グループ作業：医療介護資源マップの作成		演習	40分	
15:40	休憩			15分	
15:55	③ がんの症状緩和に必要な知識		講義	40分	
16:35	④ 事例検討：がんの症状緩和と多職種による在宅療養支援（前半）		演習	60分	
17:35	休憩			15分	
17:50	⑤ 事例検討：がんの症状緩和と多職種による在宅療養支援（後半）		演習	60分	
18:50	1日目の質疑応答		他	10分	
19:00	懇親会			90分	
20:30	（1日目終了）				
計				270分	

2 日目：平成〇年〇月〇日（日）9:00～17:30（開場 8:30）

時刻	タイトル	主な講師	分類	時間	
9:00	挨拶	—	他	10 分	司会 …
9:10	⑥ 在宅医療の導入		講義	20 分	
9:30	⑦ 訪問診療の実際と同行研修の意義	—	DVD	20 分	
9:50	⑧ 認知症の基本的理解とマネジメント		講義	40 分	
10:30	休憩			15 分	
10:45	⑨ 事例検討：認知症患者の BPSD への対応と意思決定支援（前半）		演習	60 分	
11:45	⑩ 事例検討：認知症患者の BPSD への対応と意思決定支援（後半）		演習	60 分	
12:45	昼食			60 分	
13:45	⑪ 在宅ケアにおいて何故 IPW（専門職連携協働）が必要なのか？		講義	20 分	
14:05	⑫ グループ討論：在宅医療を推進する上での課題とその解決策		演習	90 分	
15:35	⑬ 在宅医が知っておくべき報酬や制度		講義	20 分	
15:55	休憩			15 分	司会 …
16:10	⑭ 目標設定：在宅医療の実践に向けて	—	演習	10 分	
16:20	⑭ 目標発表と総括		他	40 分	
17:00	修了証書授与	主催代表	他	10 分	
17:10	アンケート記入	—	他	10 分	
17:20	閉会挨拶		他	5 分	
17:25	集合写真撮影	—	他	5 分	
17:30	（終了）	—			
計				420 分	

(2) 別紙 02-2 : 共催依頼文書

平成〇年〇月〇日

〇市〇〇会会長
〇〇 〇〇 様

〇市長 〇〇 〇〇

研修会の共催承諾について（依頼）

このたび当会では、〇市医師会とともに開業医の先生方及びその他の多職種の皆様を対象とした「在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会」を開催することとなりました。本研修会は、厚生労働省資料（別紙参照）における在宅医療に関する市町村単位の研修のモデルとなることを目指した研修です。この研修会を開催するにあたり、〇市〇〇会の共催を承諾くださるようお願いいたします。

また、共催にあたり、下記の点について市のご協力を賜りたくお願いいたします。

記

- (1) 貴会会員に対して研修会開催および受講者募集についての周知協力
※周知文書ならびに受講申し込み用紙は別途医師会にて準備いたします。
- (2) 貴会会員の受講申込者の取りまとめ
- (3) 貴会の代表として、受講を推薦する会員の選定（定員：〇名）

以上

[お問い合わせ先]

〇市〇〇課（担当：〇〇）

〒111-1111 〇市〇〇11-11

Mail : XXXXX@XXXX.XX.jp

Tel : XXX-XXX-XXXX Fax : XXX-XXX-XXXX

別紙：厚生労働省資料

- 「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業」(厚生労働省在宅医療・介護推進プロジェクトチーム「在宅医療・介護の推進について」より抜粋)

25年度予算 100百万円

多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業

■本事業の目的

- 在宅医療においては、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー、介護士などの医療福祉従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって患者・家族をサポートしていく体制を構築することが重要である
- 国が、都道府県リーダーに対して、在宅医療を担う多職種がチームとして協働するための講習を行う(都道府県リーダー研修)
- 都道府県リーダーが、地域リーダーに対して、各地域の実情やニーズにあった研修プログラムの策定を念頭に置いた講習を行う(地域リーダー研修)
- 地域リーダーは、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定し、それに沿って各市町村村で地域の多職種への研修を行う。これらを通して、患者が何処にいても医療と介護が連携したサポートを受けることができる体制構築を目指す

※WHO(世界保健機関)は、「多職種協働のためには、多職種の研修が重要である。」と推奨している。(2002年)

都道府県リーダー研修
都道府県の行政担当者、在宅医療支援診療所連絡会等

市区町村単位でリーダーを養成

都道府県の役割

- ・ 都道府県リーダーとなりうる地域の在宅医療関係者の推薦
- ・ 都道府県リーダー研修への参加
- ・ 地域リーダー研修の実施

都道府県リーダー研修
(国が、在宅医療に関する高い専門性を有する機関に委託して実施)

- 国立長寿医療研究センターが、各都道府県で中心的な役割を担う人(都道府県の行政担当者、地域の在宅医療関係者)に対して、リーダー講習を行うための研修を実施

地域リーダー研修(国が、47都道府県に委託して実施)

- 各都道府県リーダーは、各都道府県で約150人の地域リーダーを養成(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー等の職能別に市町村単位で研修に参加)
- プログラム策定方法に関する研修
- 教育展開の手法に関する研修

24年度はここまで

地域リーダーによる地域の多職種に対する研修

- 地域指導者は、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定
- 策定されたプログラムに沿って、市町村の多職種を対象に研修を実施

平成25年度

- 「在宅医療・介護連携に関する研修の実施」(平成25年8月28日、厚生労働省第46回社会保障審議会介護保険部会資料より抜粋、赤枠のみ加筆)

在宅医療・介護の連携推進について(イメージ)

(参考) 想定される取組の例

- ①地域の医療・福祉資源の把握及び活用
 - ・ 地域の医療機関等の分布を把握し、地図又はリスト化し、関係者に配布
- ②在宅医療・介護連携に関する会議への参加又は関係者の出席の仲介
 - ・ 関係者が集まる会議を開催し、地域の在宅医療・介護の課題を抽出し、解決策を検討
- ③在宅医療・介護連携に関する研修の実施
 - ・ グループワーク等の多職種参加型の研修の実施
- ④24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築
 - ・ 主治医・副主治医制等のコーディネーター
- ⑤地域包括支援センター・介護支援専門員・介護サービス事業者等への支援
 - ・ 介護支援専門員からの在宅医療・介護に係る総合的な問い合わせへの対応 等

(3) 別紙 03-1 : 講師・司会依頼文書

平成〇年〇月〇日

〇〇医院
〇〇 〇〇先生

〇市長 〇〇 〇〇

在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会の講師・司会について
(依頼)

貴殿におきましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本市と〇市医師会では、開業医の先生方及びその他の多職種の皆様を対象とした、「在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会」を開催することといたしました。本研修会は、厚生労働省資料（別紙参照）における在宅医療に関する市町村単位の研修のモデルとなることを目指した研修会です。

つきましては、ご多忙中のところ恐縮ですが、本研修会の講師・司会をお引き受け頂きますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時：平成25年〇月〇日（〇） 午後〇時から午後〇時まで
〇月〇日（〇） 午前〇時から午後〇時まで
- 2 場所：〇〇〇会館（〒111-1111 〇〇市〇〇1-1）
- 3 研修内容：別紙概要書のとおり
- 4 依頼内容
(1)
(2)
- 5 講師謝礼

[お問い合わせ先]

〇市〇〇課（担当：〇〇）

〒111-1111 〇市〇〇11-11

Mail : XXXXX@XXXX.XX.jp

Tel : XXX-XXX-XXXX, Fax : XXX-XXX-XXXX

別紙：厚生労働省資料

- 「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業」(厚生労働省在宅医療・介護推進プロジェクトチーム「在宅医療・介護の推進について」より抜粋)

25年度予算 100百万円

多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業

■本事業の目的

- 在宅医療においては、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー、介護士などの医療福祉従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって患者・家族をサポートしていく体制を構築することが重要である
- 国が、都道府県リーダーに対して、在宅医療を担う多職種がチームとして協働するための講習を行う(都道府県リーダー研修)
- 都道府県リーダーが、地域リーダーに対して、各地域の実情やニーズにあった研修プログラムの策定を念頭に置いた講習を行う(地域リーダー研修)
- 地域リーダーは、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定し、それに沿って各市町村で地域の多職種への研修を行う。これらを通して、患者が何処にいても医療と介護が連携したサポートを受けることができる体制構築を目指す

※WHO(世界保健機関)は、「多職種協働のためには、多職種の研修が重要である。」と推奨している。(2002年)

都道府県リーダー研修
都道府県の行政担当者、在宅医療支援診療所連絡会等

市区町村単位でリーダーを養成

都道府県の役割

- ・ 都道府県リーダーとなりうる地域の在宅医療関係者の推薦
- ・ 都道府県リーダー研修への参加
- ・ 地域リーダー研修の実施

都道府県リーダー研修
(国が、在宅医療に関する高い専門性を有する機関に委託して実施)

- 国立長寿医療研究センターが、各都道府県で中心的な役割を担う人(都道府県の行政担当者、地域の在宅医療関係者)に対して、リーダー講習を行うための研修を実施

地域リーダー研修(国が、47都道府県に委託して実施)

- 各都道府県リーダーは、各都道府県で約150人の地域リーダーを養成(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー等の職能別に市区町村単位で研修に参加)
- プログラム策定方法に関する研修
- 教育展開の手法に関する研修

24年度はここまで

地域リーダーによる地域の多職種に対する研修

- 地域指導者は、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定
- 策定されたプログラムに沿って、市町村の多職種を対象に研修を実施

平成25年度

- 「在宅医療・介護連携に関する研修の実施」(平成25年8月28日、厚生労働省第46回社会保障審議会介護保険部会資料より抜粋、赤枠のみ加筆)

在宅医療・介護の連携推進について(イメージ)

市町村
(地域の現状把握・連絡調整等)

在宅医療連携拠点機能(医師会等) 地域包括支援センター

連携

都道府県
(後方支援・広域調整等)

(参考) 想定される取組の例

- ①地域の医療・福祉資源の把握及び活用
 - ・ 地域の医療機関等の分布を把握し、地図又はリスト化し、関係者に配布
- ②在宅医療・介護連携に関する会議への参加又は関係者の出席の仲介
 - ・ 関係者が集まる会議を開催し、地域の在宅医療・介護の課題を抽出し、解決策を検討
- ③在宅医療・介護連携に関する研修の実施
 - ・ グループワーク等の多職種参加型の研修の実施
- ④24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築
 - ・ 主治医・副主治医制等のコーディネート
- ⑤地域包括支援センター・介護支援専門員・介護サービス事業者等への支援
 - ・ 介護支援専門員からの在宅医療・介護に係る総合的な問い合わせへの対応

等

(4) 別紙 03-2 : 推薦依頼文書

平成〇年〇月〇日

〇市〇〇会 会長
〇〇 〇〇 様

〇市長 〇〇 〇〇

「〇市 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会」
の開催について（受講者推薦依頼）

貴会におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこのたび〇市では、開業医の先生方及びその他の多職種の皆様を対象とした、〇市医師会との共催による「在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会」を開講することといたしました。本研修会は、厚生労働省資料（別紙参照）における在宅医療に関する市町村単位の研修のモデルとなることを目指した研修会です。

本研修につき、貴会会員の皆様にもぜひご受講を賜りたく、受講者の推薦をお願い申し上げます。なお、受講者の職種バランスを考慮し、〇〇師の皆様には、現在のところ6名を定員として参加を受け付けております。

ご多用の折に大変ご迷惑をおかけいたしますが、同封の受講申し込み用紙にて、〇月〇日までご連絡をお願い申し上げます。ご不明な点等ございましたらお気軽に下記までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

[お問い合わせ先]

〇市〇〇課（担当：〇〇）

〒111-1111 〇市〇〇11-11

Mail : XXXXX@XXXX.XX.jp

Tel : XXX-XXX-XXXX, Fax : XXX-XXX-XXXX

別紙：厚生労働省資料

- 「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業」（厚生労働省在宅医療・介護推進プロジェクトチーム「在宅医療・介護の推進について」より抜粋）

25年度予算 100百万円

多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業

■本事業の目的

- 在宅医療においては、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー、介護士などの医療福祉従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって患者・家族をサポートしていく体制を構築することが重要である
- 国が、都道府県リーダーに対して、在宅医療を担う多職種がチームとして協働するための講習を行う（都道府県リーダー研修）
- 都道府県リーダーが、地域リーダーに対して、各地域の実情やニーズにあった研修プログラムの策定を念頭に置いた講習を行う（地域リーダー研修）
- 地域リーダーは、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定し、それに沿って各市町村で地域の多職種への研修を行う。これらを通して、患者が何処にいても医療と介護が連携したサポートを受けられる体制構築を目指す

※WHO（世界保健機関）は、「多職種協働のためには、多職種の研修が重要である。」と推奨している。（2002年）

都道府県リーダー研修
都道府県の行政担当者、在宅医療支援診療所運営者等

市区町村単位でリーダーを養成

都道府県の役割

- ・ 都道府県リーダーとなりうる地域の在宅医療関係者の推進
- ・ 都道府県リーダー研修への参加
- ・ 地域リーダー研修の実施

都道府県リーダー研修
（国が、在宅医療に随する高い専門性を有する機関に委託して実施）

- 国立長寿医療研究センターが、各都道府県で中心的な役割を担う人（都道府県の行政担当者、地域の在宅医療関係者）に対して、リーダー講習を行うための研修を実施

地域リーダー研修（国が、47都道府県に委託して実施）

- 各都道府県リーダーは、各都道府県で約150人の地域リーダーを養成（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー等の職種別に市区町村単位で研修に参加）
- プログラム策定方法に関する研修
- 教育展開の手法に関する研修

24年度はここまで

平成25年度

医師、看護師、薬剤師、ケアマネ、MSW、リハビリ職種

医師、看護師、薬剤師、ケアマネ、MSW、リハビリ職種

医師、看護師、薬剤師、ケアマネ、MSW、リハビリ職種

■地域リーダーによる地域の多職種に対する研修

- 地域指導者は、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定
- 策定されたプログラムに沿って、市区町村の多職種を対象に研修を実施

- 「在宅医療・介護連携に関する研修の実施」（平成25年8月28日、厚生労働省第46回社会保障審議会介護保険部会資料より抜粋、赤枠のみ加筆）

在宅医療・介護の連携推進について（イメージ）

市町村
(地域の現状把握・連絡調整等)

在宅医療連携拠点機能 (医師会等) 地域包括支援センター

連携

➔

都道府県
(後方支援・広域調整等)

(参考) 想定される取組の例

- ①地域の医療・福祉資源の把握及び活用
 - ・ 地域の医療機関等の分布を把握し、地図又はリスト化し、関係者に配布
- ②在宅医療・介護連携に関する会議への参加又は関係者の出席の仲介
 - ・ 関係者が集まる会議を開催し、地域の在宅医療・介護の課題を抽出し、解決策を検討
- ③在宅医療・介護連携に関する研修の実施
 - ・ グループワーク等の多職種参加型の研修の実施
- ④24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築
 - ・ 主治医・副主治医制等のコーディネーター
- ⑤地域包括支援センター・介護支援専門員・介護サービス事業者等への支援
 - ・ 介護支援専門員からの在宅医療・介護に係る総合的な問い合わせへの対応

等

○市 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会 受講申し込み用紙（職種団体推薦用）

Fax 送信先：XX-XXXX-XXXX

E-mail 送信先：XXXX@XXXXXX.jp

（お問い合わせ：XX-XXXX-XXXX／返信締め切り：○月○日）

団体名	(ご担当者名：)	電話番号	—	—
メール	@	FAX 番号	—	—

推薦者一覧

							懇親会参加 (OorX)
1	氏名		所属機関		電話番号	—	—
	メール	@			FAX 番号	—	—
2	氏名		所属機関		電話番号	—	—
	メール	@			FAX 番号	—	—
3	氏名		所属機関		電話番号	—	—
	メール	@			FAX 番号	—	—

							懇親会参加 (OorX)
4	氏名		所属機関		電話番号	— —	
	メール	@			FAX 番号	— —	
5	氏名		所属機関		電話番号	— —	
	メール	@			FAX 番号	— —	
6	氏名		所属機関		電話番号	— —	
	メール	@			FAX 番号	— —	
7	氏名		所属機関		電話番号	— —	
	メール	@			FAX 番号	— —	
8	氏名		所属機関		電話番号	— —	
	メール	@			FAX 番号	— —	
9	氏名		所属機関		電話番号	— —	
	メール	@			FAX 番号	— —	

(5) 別紙 03-3 : 受講者募集文書 (各団体使用)

平成〇年〇月〇日

〇〇会会員各位

〇市長 〇〇 〇〇

〇市 在宅医療推進のための地域における
多職種連携研修会の開催について (受講者募集)

さてこのたび〇市ならびに〇市医師会では、〇市〇〇会開業医の先生方及びその他の多職種の皆様を対象とした「〇市 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会 (別紙概要書参照)」を開講することといたしました。本研修会は、厚生労働省資料 (別紙参照) における在宅医療に関する市町村単位の研修のモデルとなることを目指した研修会です。

本研修につき、〇市〇〇会会員の皆様にぜひご受講を賜りたく、ご案内申し上げます。なお、受講者の職種バランスを考慮し、医師の皆様には、現在のところ〇名を定員として参加を受け付けております。(※最大〇名まで調整可能ですが、希望者多数の場合にはやむを得ず受講をお断りする場合がございます。)

〇名を上回った場合は、オブザーバーとして参加をお願いします。

記

日	時	平成〇年〇月〇日 (〇)	
		午後〇時~〇時 (終了後懇親会) 開場	午後〇時〇分
		平成〇年〇月〇日 (〇)	
		午前〇時~午後〇時〇分	開場 午前〇時〇分
場	所	〇〇会館 〇階 会議室	
		〇市〇〇 1 1-1 1	

ご多用の折に大変ご迷惑をおかけいたしますが、同封の受講申し込み用紙にて、〇月〇日までご連絡をお願い申し上げます。ご不明な点等ございましたらお気軽に下記までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

[お問い合わせ先]

〇市〇〇課 (担当: 〇〇)

〒111-1111 〇市〇〇11-11

Mail: XXXXX@XXXX.XX.jp

Tel: XXX-XXX-XXXX, Fax: XXX-XXX-XXXX

別紙：厚生労働省資料

- 「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業」(厚生労働省在宅医療・介護推進プロジェクトチーム「在宅医療・介護の推進について」より抜粋)

25年度予算 100百万円

■ 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業

■ 本事業の目的

- 在宅医療においては、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー、介護士などの医療福祉従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって患者・家族をサポートしていく体制を構築することが重要である
- 国が、都道府県リーダーに対して、在宅医療を担う多職種がチームとして協働するための講習を行う(都道府県リーダー研修)
- 都道府県リーダーが、地域リーダーに対して、各地域の実情やニーズにあった研修プログラムの策定を念頭に置いた講習を行う(地域リーダー研修)
- 地域リーダーは、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定し、それに沿って各市町村村で地域の多職種への研修を行う。これらを通して、患者が何処にいても医療と介護が連携したサポートを受けられる体制構築を目指す

※WHO(世界保健機関)は、「多職種協働のためには、多職種の研修が重要である。」と推奨している。(2002年)

都道府県リーダー研修
都道府県の行政担当者、在宅医療支援診療所連絡会等

市区町村単位でリーダーを養成

都道府県の役割

- ・ 都道府県リーダーとなりうる地域の在宅医療関係者の推薦
- ・ 都道府県リーダー研修への参加
- ・ 地域リーダー研修の実施

都道府県リーダー研修
(国が、在宅医療に関する高い専門性を有する機関に委託して実施)

- 国立長寿医療研究センターが、各都道府県で中心的な役割を担う人(都道府県の行政担当者、地域の在宅医療関係者)に対して、リーダー講習を行うための研修を実施

地域リーダー研修(国が、47都道府県に委託して実施)

- 各都道府県リーダーは、各都道府県で約150人の地域リーダーを養成(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー等の職能別に市区町村単位で研修に参加)
- ープログラム策定方法に関する研修
- ー教育展開の手法に関する研修

24年度はここまで

地域リーダーによる地域の多職種に対する研修

- 地域指導者は、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定
- 策定されたプログラムに沿って、市町村の多職種を対象に研修を実施

平成25年度

- 「在宅医療・介護連携に関する研修の実施」(平成25年8月28日、厚生労働省第46回社会保障審議会介護保険部会資料より抜粋、赤枠のみ加筆)

在宅医療・介護の連携推進について(イメージ)

(参考) 想定される取組の例

- ①地域の医療・福祉資源の把握及び活用
 - ・ 地域の医療機関等の分布を把握し、地図又はリスト化し、関係者に配布
- ②在宅医療・介護連携に関する会議への参加又は関係者の出席の仲介
 - ・ 関係者が集まる会議を開催し、地域の在宅医療・介護の課題を抽出し、解決策を検討
- ③在宅医療・介護連携に関する研修の実施
 - ・ グループワーク等の多職種参加型の研修の実施
- ④24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築
 - ・ 主治医・副主治医制等のコーディネート
- ⑤地域包括支援センター・介護支援専門員・介護サービス事業者等への支援
 - ・ 介護支援専門員からの在宅医療・介護に係る総合的な問い合わせへの対応

在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会
受講申し込み用紙（個人申し込み用）

Fax 送信先：〇市〇〇会 0X-XXXX-XXXX

E-mail 送信先：XXXXXXXX@XXXXX.XX.jp

申込種別	受講者 ・ 傍聴者 ・ どちらでも
ご氏名	
主たる資格	
所属機関名	
電話番号	— —
FAX 番号	— —
メール	@
懇親会ご出欠 [※]	ご出席 ・ ご欠席
備 考	

※1 日目研修会終了後の懇親会について

1 日目（〇月〇日）研修会終了後〇：〇～〇：〇に、研修会場にて簡単な懇親会（費用実費負担）を予定しております。

大変お手数をおかけいたしますが、準備の都合上、〇月〇日までにご連絡をお願い申し上げます。

(6) 別紙 03-4 : 受講者募集文書 (主催者使用)

平成〇年〇月〇日

関係各位

〇市長 〇〇 〇〇

〇市 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会
の開催について (受講者募集)

さてこのたび〇市医師会と〇市では、開業医の先生方及びその他の多職種の皆様を対象とした「〇市 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会」(詳細は別紙概要書参照)を開講することといたしました。本研修会は、厚生労働省資料(別紙参照)における在宅医療に関する市町村単位の研修のモデルとなることを目指した研修会です。

本研修の開催にあたり、〇市の在宅医療の現場で働いている皆様にご受講を賜りたく、ご案内申し上げます。なお、本研修会は受講者の職種バランスを考慮してグループを構成するため、希望者多数の場合にはやむを得ず受講をお断りする場合がございます。

ご多用の折に大変ご迷惑をおかけいたしますが、同封の受講申し込み用紙にて、〇月〇日までご連絡をお願い申し上げます。ご不明な点等ございましたらお気軽に下記までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

※なおご自身の専門職団体が地域にある場合には、そちらへお問い合わせください。

[お問い合わせ先]

〇市〇〇課 (担当 : 〇〇)

〒111-1111 〇市〇〇11-11

Mail : XXXXX@XXXX.XX.jp

Tel : XXX-XXX-XXXX, Fax : XXX-XXX-XXXX

別紙：厚生労働省資料

- 「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業」（厚生労働省在宅医療・介護推進プロジェクトチーム「在宅医療・介護の推進について」より抜粋）

25年度予算 100百万円

■ 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業

■ 本事業の目的

- 在宅医療においては、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー、介護士などの医療福祉従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって患者・家族をサポートしていく体制を構築することが重要である
- 国が、都道府県リーダーに対して、在宅医療を担う多職種がチームとして協働するための講習を行う（都道府県リーダー研修）
- 都道府県リーダーが、地域リーダーに対して、各地域の実情やニーズにあった研修プログラムの策定を念頭に置いた講習を行う（地域リーダー研修）
- 地域リーダーは、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定し、それに沿って各市区町村で地域の多職種への研修を行う。これらを通して、患者が何処にいても医療と介護が連携したサポートを受けることができる体制構築を目指す

※WHO（世界保健機関）は、「多職種協働のためには、多職種の研修が重要である。」と推奨している。（2002年）

都道府県リーダー研修
都道府県の行政担当者、在宅医療支援診療所連絡会等

市区町村単位でリーダーを養成

都道府県の役割

- ・ 都道府県リーダーとなりうる地域の在宅医療関係者の推薦
- ・ 都道府県リーダー研修への参加
- ・ 地域リーダー研修の実施

都道府県リーダー研修
（国が、在宅医療に関する高い専門性を有する機関に委託して実施）

- 国立長寿医療研究センターが、各都道府県で中心的な役割を担う人（都道府県の行政担当者、地域の在宅医療関係者）に対して、リーダー講習を行うための研修を実施

地域リーダー研修（国が、47都道府県に委託して実施）

- 各都道府県リーダーは、各都道府県で約150人の地域リーダーを養成（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー等の職能別に市区町村単位で研修に参加）
- ープログラム策定方法に関する研修
- ー教育展開の手法に関する研修

24年度はここまで

地域リーダーによる地域の多職種に対する研修

- 地域指導者は、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定
- 策定されたプログラムに沿って、市区町村の多職種を対象に研修を実施

平成25年度

- 「在宅医療・介護連携に関する研修の実施」（平成25年8月28日、厚生労働省第46回社会保障審議会介護保険部会資料より抜粋、赤枠のみ加筆）

在宅医療・介護の連携推進について（イメージ）

市町村
(地域の現状把握・連絡調整等)

在宅医療連携拠点機能 (医師会等)

地域包括支援センター

⇄

都道府県
(後方支援・広域調整等)

(参考) 想定される取組の例

- ① 地域の医療・福祉資源の把握及び活用
 - ・ 地域の医療機関等の分布を把握し、地図又はリスト化し、関係者に配布
- ② 在宅医療・介護連携に関する会議への参加又は関係者の出席の仲介
 - ・ 関係者が集まる会議を開催し、地域の在宅医療・介護の課題を抽出し、解決策を検討
- ③ 在宅医療・介護連携に関する研修の実施
 - ・ グループワーク等の多職種参加型の研修の実施
- ④ 24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築
 - ・ 主治医・副主治医制等のコーディネート
- ⑤ 地域包括支援センター・介護支援専門員・介護サービス事業者等への支援
 - ・ 介護支援専門員からの在宅医療・介護に係る総合的な問い合わせへの対応

等

○市 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会
受講申し込み用紙（個人申し込み用）

Fax 送信先：XX-XXXX-XXXX

E-mail 送信先：XXXX@XXXXXX.jp

（お問い合わせ：XX-XXXX-XXXX／返信締め切り：○月○日）

※ご自身の専門職団体が地域にある場合には、そちらへお問い合わせください。

申込種別	受講者 ・ 傍聴者 ・ どちらでも
ご氏名	
主たる資格	
所属機関名	
電話番号	— —
FAX 番号	— —
メール	@
懇親会ご出欠*	ご出席 ・ ご欠席
備考	

※1 日目研修会終了後の懇親会について

1 日目（○月○日）研修会終了後○：○～○：○に、研修会場にて簡単な懇親会（費用実費負担）を予定しております。

大変お手数をおかけいたしますが、準備の都合上、○月○日までにご連絡をお願い申し上げます。

(7) 別紙 03-5 : 傍聴者募集文書

平成〇年〇月〇日

関係各位

〇市長 〇〇 〇〇

〇市 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会
の開催について（傍聴者募集）

さてこのたび〇市医師会と〇市では、開業医の先生方及びその他の多職種の皆様を対象とした「〇市 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会（詳細は概要書参照）」を開講することといたしました。本研修会は、厚生労働省資料（別紙参照）における在宅医療に関する市町村単位の研修のモデルとなることを目指した研修会です。

〇市では近隣の市町村の行政職員、各職種団体に在宅医療の担当役員等の方々に傍聴して頂き、近隣の地域でも在宅医療を推進するための研修会を開催して頂きたいと考えております。つきましては、傍聴を希望される方がおられましたら、同封の受講申し込み用紙にて、〇月〇日までご連絡をお願い申し上げます。ご不明な点等ございましたらお気軽に下記までお問い合わせくださいようお願い申し上げます。

※なお、市内在住の在宅医療に係る職種の方で、本研修会の受講を希望される方は、ご自身が所属されている職種団体、もしくは下記お問い合わせ先までご連絡ください。

[お問い合わせ先]

〇市〇〇課（担当：〇〇）

〒111-1111 〇市〇〇11-11

Mail : XXXXX@XXXX.XX.jp

Tel : XXX-XXX-XXXX, Fax : XXX-XXX-XXXX

別紙：厚生労働省資料

- 「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業」(厚生労働省在宅医療・介護推進プロジェクトチーム「在宅医療・介護の推進について」より抜粋)

■ 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業 25年度予算 100百万円

■ 本事業の目的

- 在宅医療においては、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー、介護士などの医療福祉従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって患者・家族をサポートしていく体制を構築することが重要である
- 国が、都道府県リーダーに対して、在宅医療を担う多職種がチームとして協働するための講習を行う(都道府県リーダー研修)
- 都道府県リーダーが、地域リーダーに対して、各地域の実情やニーズにあった研修プログラムの策定を念頭に置いた講習を行う(地域リーダー研修)
- 地域リーダーは、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定し、それに沿って各市町村村で地域の多職種への研修を行う。これらを通して、患者が何処にいても医療と介護が連携したサポートを受けることができる体制構築を目指す

※ WHO(世界保健機関)は、「多職種協働のためには、多職種の研修が重要である。」と推奨している。(2002年)

都道府県リーダー研修
都道府県の行政担当者、在宅医療支援診療所連絡会等

市区町村単位でリーダーを養成

都道府県の役割

- ・ 都道府県リーダーとなる地域の在宅医療関係者の推薦
- ・ 都道府県リーダー研修への参加
- ・ 地域リーダー研修の実施

都道府県リーダー研修
(国が、在宅医療に関する高い専門性を有する機関に委託して実施)

- 国立長寿医療研究センターが、各都道府県で中心的な役割を担う(都道府県の行政担当者、地域の在宅医療関係者)に対して、リーダー講習を行うための研修を実施

地域リーダー研修(国が、47都道府県に委託して実施)

- 各都道府県リーダーは、各都道府県で約150人の地域リーダーを養成(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー等の職能別に市町村単位で研修に参加)
- ープログラム策定方法に関する研修
- ー教育展開の手法に関する研修

24年度はここまで

地域リーダーによる地域の多職種に対する研修

- 地域指導者は、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定
- 策定されたプログラムに沿って、市町村の多職種を対象に研修を実施

平成25年度

医師 看護師 薬剤師
歯科医師 ケアマネ
MSW リハビリ職種

- 「在宅医療・介護連携に関する研修の実施」(平成25年8月28日、厚生労働省第46回社会保障審議会介護保険部会資料より抜粋、赤枠のみ加筆)

在宅医療・介護の連携推進について(イメージ)

市町村
(地域の現状把握・連絡調整等)

在宅医療連携拠点機能
(医師会等)

地域包括支援センター

連携

都道府県
(後方支援・広域調整等)

(参考) 想定される取組の例

- ① 地域の医療・福祉資源の把握及び活用
 - ・ 地域の医療機関等の分布を把握し、地図又はリスト化し、関係者に配布
- ② 在宅医療・介護連携に関する会議への参加又は関係者の出席の仲介
 - ・ 関係者が集まる会議を開催し、地域の在宅医療・介護の課題を抽出し、解決策を検討
- ③ 在宅医療・介護連携に関する研修の実施
 - ・ グループワーク等の多職種参加型の研修の実施
- ④ 24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築
 - ・ 主治医・副主治医制等のコーディネート
- ⑤ 地域包括支援センター・介護支援専門員・介護サービス事業者等への支援
 - ・ 介護支援専門員からの在宅医療・介護に係る総合的な問い合わせへの対応 等

〇市 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会
傍聴申し込み用紙（個人申し込み用）

Fax 送信先：XX-XXXX-XXXX

E-mail 送信先：XXXX@XXXXXX.jp

（お問い合わせ：XX-XXXX-XXXX／返信締め切り：〇月〇日）

傍聴参加申込用紙

参加日程	1 日目（〇月〇日） ・ 2 日目（〇月〇日）
ご氏名	
主たる資格	
所属機関名	
電話番号	— —
FAX 番号	— —
メール	@
懇親会ご出欠※	ご出席 ・ ご欠席
備考	

※1 日目研修会終了後の懇親会について

1 日目（〇月〇日）研修会終了後〇：〇～〇：〇に、研修会場にて簡単な懇親会（費用実費負担）を予定しております。

大変お手数をおかけいたしますが、準備の都合上、〇月〇日までにご連絡をお願い申し上げます。